

映画とスクリプト

□所要時間	45分程度
□主なスキル	音声のインプット（リスニング）
□形式	個人からペア（もしくはグループ活動）まで対応可
□概要とねらい	
<p>映画のごく短いシーンを選び、そのシーンを鑑賞した後、スクリプトを読み、原作があれば原作と比較するアクティビティです。文字情報だけだと飽きてくるので、時には視覚的にも楽しめる映画のスクリプトを読むことで多読の幅を広げ、授業にバラエティをもたらします。映画をノベライズした多読図書も多いので、映画と本を比べることも可能です。ここでは英語で読んでみたい図書として人気の『ハリー・ポッター』を取り上げます。原作は難易度が高いが、スクリプトはセリフが中心で、映像のヒントもあるため原作よりも入りやすく、視聴経験のある学習者も多いためなじみやすいと考えられます。</p>	
□事前準備（必要な教材、器具など）	
<p>映画のスクリプト（取り上げたいシーンの部分）A4の紙2枚（もしくはA3の紙1枚）程度に収まるくらいがちょうどよい長さ 映画のDVDなど</p>	
□手順	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 映画のシーン（長くても3分程度）を鑑賞する。その際、字幕ありで鑑賞するなどして、意味理解に問題のないようにしておく（場合によっては日本語で見てもよい）。 2. そのシーンのスクリプトを配布し、各自で読む。セリフとト書きの違いも念のため説明しておく。 3. ペアで、1行ずつ交代で読んでみる（順番を変えて2回行う）。 4. 再度映像を見る。 5. 原作の同じシーンに該当する部分を抜き出したテキストを配布し、興味のある人に読んでもらう。 <p>*2と3の間にもう一度映像を見る、シャドーイングするなどしてもよい。スクリプトを読んで英文を理解し、ペアで読むなどして定着を図ると、再度映像を見た際に英語が前よりもはっきりと聞き取れるようになる。</p>	

【学生の反応】

多くの学生が、映像を観たことで内容理解が進んだことを指摘しています。

- 映像を見ながらだったので頭に入ってきやすく、最も楽しめながら学習できました。

- ある程度内容を知っている映画なら英語字幕・英語音声でも見やすくいいなと思った。
- 字幕と映像があるだけでストーリーの理解度が大きく変わったことに驚きました。
- ハリー・ポッターにふれることはあまりないのですが、日本語で見たり（読んだり）するよりも小さなニュアンスの違いが見えてきたりして“英語で知る”ということのおもしろさに気づけた気がします。
- 省略されている部分との対比とか興味深かった。
- 小さい頃からハリー・ポッターを何度も見ているのでとても楽しめました。自宅で全シリーズ字幕で見ようと思います。
- 映像があると本文との情景がマッチしていて内容理解が深まった。
- スクリプトを読むことで何を言っているかがわかったので映画の内容がスッと頭に入ってきてとてもおもしろかったです。
- 台本形式だったら読みやすいし、好きな映画だったら楽しめる。アニメ映画とかでもよいかも。
- 取り組みやすい題材だったのでよかったが英語力がつくかは不明。

【応用・解説】

指導ポイント

実際に使用した部分は、シリーズの初めの作 *Harry Potter and the Philosopher's Stone* (『ハリー・ポッターと賢者の石』)でハリーらがそれぞれの寮に組み分けられるシーンです。ハリー・ポッターは、読んでみたいと思う学生が多い作品ですが、難易度が高く(YL 8.0)、読み始めても挫折してしまうケースがほとんどです。けれどもスクリプトならば映画のシーンとセットで理解できるため内容がつかみやすく、またその後、原作の該当箇所と比べることで原作の感触も味わうことができます。

もう少し時間をかけられる場合は、グループで担当の役を決めてアフレコのような活動を行ってもよいでしょう。

このアクティビティに適した図書

『ハリー・ポッター』は上述のとおり、多くの学生が歓迎する素材です。他には『アラジン』などのディズニー映画もこのアクティビティの素材として適しています。ディズニー版と非ディズニー版の原作を読み比べることもできます。ディズニー版しか知らない学生が多く、『アラジン』のほかに『人魚姫』、『ラプンツェル』、『美女と野獣』なども原作を知るとストーリーの違いに驚くようです。

【その他備考】

映画のスクリプトは、ネットを検索するだけで比較的簡単に手に入れることができま

すが、手直しが必要なケースが多々あり、注意が必要です。また、どの部分を使うかを検討するのに、少々時間がかかるかもしれません。

(文責：小林めぐみ)